

大妻女子大学所蔵 勸化本・ 仏書関係和本書目稿(一)
: 平成二十八年一月

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-03-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 土屋, 順子 メールアドレス: 所属:
URL	https://otsuma.repo.nii.ac.jp/records/6181

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.



大妻女子大学所蔵 勸化本・仏書関係和本書目稿（一）

土 屋 順 子

凡 例

- 一、掲載は請求記号の順にし、便宜上通し番号を付した。
- 一、書名は古典籍総合目録データ（国文学研究資料館）に拠った。異なる場合は特記した。
- 一、書名・書型・出版年・著者・請求記号、序跋・刊記、その他広告・蔵版目録をあげた。また、刊記については、年次が示されていない場合は「刊記なし」とし、書肆名があっても刊年がない場合は、刊年はないと記した。
- 一、重複する作品には※を付けて注記した。
- 一、虫損・印刷スレ等、私に付したものは「」で記した。

1 説法百華園 大本五卷五冊 宝暦二年刊 菅原智道 913.47 ka54 1-1~1-5

大妻女子大学所蔵 勸化本・仏書関係和本書目稿（一）

序「寛延辛未春三月／菅原山僧如達」。

跋「辛未臘月阮野海南勝道以寧題」。

裏見返しに「宝暦二年壬申正月日／江戸通本町三丁目 西村源六／京堀川通松原上町 八尾清兵衛／大坂心齋橋筋順慶町 渋川与市」とある。

※47『説法百華園』と同版。

2 勸化短綆鈔

大本六卷合一冊 寛保三年刊 渋阜 東渚 913.47 ka54 2

外題「浄土二十九 莊嚴／勸化短綆鈔」。

序「寛保三癸亥春正月 光闡寺 南溟甫識」。

刊記「寛保三^癸亥載五月穀旦／京三條通高倉東江入町 出雲寺和泉掾／同「京」堀川通仏光寺下^ル町 河南四郎右衛門／同「京」町内 長村半兵衛／同繡「中央下」」。

3 文覚上人行略抄

大本合一冊 刊年不明 南溟 913.47 ka54 3

外題「説教因縁／文覚上人行状記」。

刊年はなく、裏見返しに「浄土宗総本山／書籍調進所／京知恩院古門前石橋町 澤田吉左衛門」とある。

宝暦二年版（江戸 梅村弥太郎／大坂 大野木市兵衛／京 藤屋武兵衛）の後印本。宝暦二年の刊記を残し、裏見返しに、新たに書肆名を補う。

4 勸化南針抄

大本七卷七冊 宝永八年刊 盤察 913.47 ka54 4-1～4-7

外題「念仏安心／勸化南針抄」。

序「宝永龍集庚寅臘月既望 洛西前浄円教寺沙門 盤察誌」。

刊記「宝永第八稔正月穀旦／〔京〕錢屋庄兵衛／〔京〕錢屋嘉兵衛／同繻（中央下）」。

5 茗談集 大本六卷六冊 元文六年刊 南溟 913.47 ka54 5-1～5-6

外題「古今事跡／茗談集」。

序「湖東駒井光闡寺 南溟 著」。序文冒頭に「元文己未 夏五月南^{ツチノトビツシノナツ}櫺スミシキ夜」とある。

裏見返しに「元文六辛酉年孟春吉日／書林／大坂安堂寺町心齋橋筋 秋田屋市兵衛／京寺町通五条「ヤブレ」上^{マド}ル町 藤屋武兵衛」。

6 西国順礼歌諺註（序・内題より） 半紙本一巻一冊 享保十一年刊 913.47 ka54 6

序「江州麻生浄国寺 厚誉春鶯謹誌」。

刊記「享保十一丙午歳／書林／大坂心齋橋順慶町 柏原屋清右衛門 板」。

表紙損傷。外題判読不可能。見返しに「長谷寺」仏像の絵入り。

7 茶店物語 大本一巻一冊 写本 享保二年か 913.47 ka54 7

外題「茶見勢物語」。

序「丁酉の夏 秀岡」。

年次はなく、本文末に「于時享保丁酉ノ夏」とある。

『国書総目録』では、大正大学蔵本（二卷一冊）がある。

8 勸善錦鱗鈔 大本七卷合一冊 享保十五年刊 鳳瑞 913.47 ka54 8

目録題・内題・尾題「大明仁孝皇后勸善錦鱗鈔」。

序「享保十五年九月中浣／於_テ神籬来儀堂_ニ鳳瑞自叙」。

刊記「享保十五^庚稔九月五日／皇都書肆／并河甚三郎／栗山宇兵衛／荒川源兵衛／八木八郎兵衛／平井五郎右衛門」。

9 羅漢応驗伝 大本二卷二冊 宝暦五年跋 面山瑞方 913.47 ka54 9

序「宝暦四年仲秋初五日／北海若之癡羊僧頭陀方面山 謹撰」。

跋「宝暦五年孟冬十五日／劣徒住肥後州中宮山悟真寺／沙門宝国慧琳 拝題」。

「刊記」なし。口絵あり。

10 幡随意上人諸国行化伝 大本五卷五冊 宝暦五年刊 喚誉 913.47 ka54 10-1～10-5

序「宝暦癸酉冬日無相文雄_ニ毫_ヲ於京師了蓮浄寺尚綱堂_ニ」。

跋「洛北五却院主 喚誉誌」。

刊記「宝暦五乙亥正月良辰／作者 京師 喚誉／京寺町通松原下_ル町 勝村治右衛門」。

※『幡随意上人諸国行化伝』（913.47 ka54 64）は江戸梅村惣右衛門_ノ出版。

11 勸化法雷篇 大本三卷三冊 宝暦五年刊 釈春国芳瑞 913.47 ka54 11-1

外題「浄土勸化／法雷篇」。序題「刊法雷篇」。

序「宝曆四年六月三日／長門俊瑞 序」。「甲戌之夏 摂津正音寺正道 誌」。

刊記「宝曆五年亥五月穀旦／書林／皇都堀川通綾小路下町 錢屋庄兵衛／浪華心齋橋筋順慶町 柏原屋清右衛門」。

12 説法和歌玉屑鈔

大本八卷八冊 元文三年刊 南溟 913.47 ka54 12-1～12-8

外題「譬喩因縁／説法和歌玉屑抄」。

序「享保十六辛亥、稔三月庚午、日京兆、後進南溟鵬 拝撰」。

刊記「元文三年戊午孟春吉日／皇都書肆／植村藤治郎／長村半兵衛」。

13 七高僧伝勸化鈔

大本七卷七冊 享保十二年刊 913.47 ka54 13-1～13-7

外題「三朝因縁／七高僧伝勸化鈔」。

見返し「真宗伝燈／遙伝慧燈燈輝歷世之明／七高僧讃嘆鈔／遠瀉瀧瓶瓶霑遍界之渴」。

刊記「享保十二年禊丁三月吉日／永田調兵衛／芝田忠次／安田利兵衛／永田嘉兵衛／寿梓〔中央下〕」。

14 孝感冥祥録

大本二卷二冊 享保十九年刊 伝阿記 宝洲評 913.47 ka54 14-1～14-2

外題「孝子善之丞」（後補書外題）。

序「享保十九龍集甲寅上元日／洛東獅子谷白蓮社沙漣鶴宝洲和南叙」。

跋「享保十八年十一月十八日 西隠伝阿欽誌」。

刊記「享保十九稔甲寅孟晋良辰／知恩院石橋書肆 澤田吉左衛門 寿梓」。

卷末に「孝感冥祥録喜捨助刻各位」二十三名を記す。

- 15 新選沙石集 大本五卷五冊 刊年不明 虚舟 913.47 ka54 15-1～15-5

外題「新沙石集」。

序「桑門虚舟子書之」。

「刊記」なし。卷末に「書林」とあるだけで、書肆名は削除されている。

『国書総目録』によれば、京藤屋武兵衛の出版。

- 16 礪石集 大本三卷三冊（卷一・卷三本・卷三末のみ存） 刊年不明 蓮体 913.47 ka54 16-1～16-3

目録題「真宗礪石集」。

刊記部欠。

出版事項不明。『礪石集』（元禄六年刊）は六卷六冊。

- 17 真宗勸化癸疑鈔 大本五卷合一冊 宝暦三年刊 913.47 ka54 17

序「宝暦壬申歳首上渚／加洲可得堂釈惠明 謹書」。

刊記「宝暦三年癸酉三月／東六條下珠数屋町 丁子屋正助／同中珠数屋町 池田屋七兵衛／五條通高倉東江入町 北村四郎兵衛／堀川通仏光寺下ル町 河南四郎右衛門」。

- 18 願王正義編 大本五卷合一冊 宝暦五年刊 913.47 ka54 18

序「宝暦乙亥初秋八日書」。

刊記「宝暦五年七月／書林／京堀河通仏光寺下町 河南四郎右衛門／大坂嶋之内綿袋町灘屋 中村庄兵衛」。
印記「林泉寺」（円形黒印）。

外題は題簽を欠き不明。別本で確認すると「勸化／願王正義編」。

※46『願王正義編』は後印本。

19 真宗勸化行狀鈔

大本九卷九冊（卷二欠） 刊行不明 913.47 ka54 19-1～19-9

外題「報恩講式／真宗勸化行狀鈔」。

序「元禄八歳龍集^乙孟春上澣日洛陽疎財坊沙門了信 誌^印」。

裏見返しに「京都書林／寺町通松原上ル町西「ヤブレ」菊屋七郎兵衛／板行」とある。

本文末に元禄八年版（「元禄第八乙亥歳季春日／洛陽書肆／五條橋通万寿寺町外屋／川勝五郎右衛門版刊」）の刊記を残し、裏見返しに新たに書肆を補う。

20 新選發心伝

大本二卷二冊 元文二年刊 性均 913.47 ka54 20-1～20-2

外題「近代見聞／新選發心伝」。

序「元文二次^ル丁巳^ニ年三月十二日／武江築地安養桑門唯阿性均書于白蓮庵／西牕下^ニ」。

跋「元文二丁巳年二月二十一日／武江築地安養桑門 性均書于下総州松戸艸庵」。

刊記「元文二年丁巳九月穀旦／御書物師 江戸日本橋通宅町目 出雲寺和泉掾開版／京都 京三条通高倉東江入町 同店」。
卷末に「明遍僧都一紙／法語諺註／嗣出」を広告。

21 中将姫行状記 大本七卷七冊 享保十五年刊 致敬 913.47 ka54 21-1～21-7

外題「勸化資補／中将姫行状記」。

刊記「享保十五歲次庚戌三月吉日／書肆／大坂本町五丁目北御堂前 毛利田庄太郎 開板」。
卷末に「中将姫行状絵詞伝 全部十冊／追付出来」を広告。未見。

22 小夜中山靈鐘記 大本五卷五冊 寛延元年刊 欣誉 913.47 ka54 22-1～22-5

外題「往昔諺話／小夜中山靈鐘記」。

序「延享四^丁卯霜月仏歡喜日／東都量山沙門 欣誉 自序」。

刊記「寛延元^{戊辰}年八月吉日／皇都書林／京二條通油小路東入町 田中甚兵衛」。
「道成寺靈蹤記」を広告。

23 荊萱道心行状記 大本五卷五冊 寛延二年刊 門^二誉 913.47 ka54 23-1～23-5

跋「摂州沙門 含蓮社門^二誉 誌」。

刊記「寛延式^己春／摂州沙門 含蓮社門^二誉 誌／武江書林 浅草東御堂前 辻村五兵衛」。

24 勸信黄葉譚 大本三卷三冊 刊年不明 慈弁 913.47 ka54 24-1～24-3

尾題「法華勸信黄葉譚」。

序「宝曆乙初冬十月 鷹峰宇光山 僧鶴慈弁」。

刊記はなく、裏見返しに「京都東洞院通三條上町／平樂寺村上勘兵衛」とある。
後印本。巻末に初版の刊記「宝暦七^丁孟春／書林／西堀川松原上^ル町 八尾清兵衛／二条通車屋町角 村上勘兵衛」を
残し、裏見返しに新たに書肆名を補う。

※ 35・36 『勸信黄葉譚』 参照。

25 浄土勸化言々海

大本三卷一冊 寛政十年刊 菅原智洞 913.47 ka54 25

序題・跋題「言々海」。

序「寛延庚午 春周州小鯖嶽春国芳瑞謹識」。「寛延己巳仲冬／爰原山僧智洞如達 于平安城西大五堂与之」。

跋「寛延庚午孟春日 紀南 瓊芳題」。

裏見返しに「寛政十年戊午夏求版／皇都書林／三条通富小路東入町 錢屋利兵衛」とある。

「智洞師著述目錄」六作あり。

初版は京都出雲寺文治郎（寛延三年）刊。該本は、京 錢屋利兵衛による求版本。

26 説法巍々編

大本三卷三冊 宝暦二年刊 菅原智洞 913.47 ka54 26-1～26-3

跋題「巍々編」。

序「菅原山僧智洞如達 撰」。

跋「辛未冬／関州友人春国 識」。

刊記「宝暦貳歳正月人日／書肆／浪華心齋橋順慶町 渋川与市／京都堀川通松原上町 八尾清兵衛」。

巻末に「丁子屋九郎右衛門 藏版目錄」二丁を付す。

27 遣喚余声 初編 大本六卷五冊（卷一欠） 安永七年刊か 菅原智洞 913.47 ka54 27-1～27-5

外題「大経説法／遣喚余声」。

裏見返しに「安永七戊戌六月／京都書林／北村四郎兵衛／河南四郎兵衛／松浦善兵衛／濃州大垣 本屋善兵衛」とある。東洋大学哲学堂文庫所蔵本は、安永十年刊とする。後補の裏見返しか。

「大経勸化／遣喚余声」近刻の広告も不自然。

卷二・四に貼紙、多くの書き込みがある。

28 遣喚余声 初編 大本合二冊（卷一・二・三・四のみ存） 刊年不明 913.47 ka54 28-1～28-2

序「安永八二月 能州毘能山通洞 頓首」。

最終巻欠のため、出版事項不明。

29 善光寺如来東漸録 大本五卷五冊 文政以降 栗津義圭 913.47 ka54 29-1～29-5

外題「浄土勸化／三國因縁／善光寺如来東漸録」。

刊記「安永二^{癸巳}年五月吉日／御幸町通御池下ル所 菱屋孫兵衛／寺町通松原下ル所 菊屋喜兵衛／梓行（中央下）」。

巻末に「文政元年戊寅初冬／京菱屋孫兵衛」蔵版目録（五丁半）あり。

刊記はあるが、文政以降の後印本。

30 勸導簿照 大本二十卷十冊 菅原智洞 913.47 ka54 30-1～30-10

外題「譬喩因縁／勸導簿照」。

序「能登菅原积智洞如達撰」。「宝暦癸未六月 西濃大垣淨円寺真教 識^ス」。

刊記「安永二癸巳年五月／京書舗」とあるだけで、書肆名が削除されている。

裏見返しに「各宗書籍製本発売所／京都書林 永田調兵衛」とある。末巻に永田調兵衛蔵版目録（三丁）あり。
初版は安永二年であるが、該本は明治以降の後印本。

31 善悪因果業道談 大本五卷五冊 安永二年刊 円乗 913.47 ka54 31-1～31-5

外題「大経五悪／善悪業道談」。

序「明和第九歳夷則念八 中原沙門 円乗 謹書」。

刊記「安永二年巳四月／堀川通仏光寺下^ル町 河南四郎右衛門／西六条御前通 永田勘兵衛」。

32 安倍仲麿入唐記 大本一冊 写本 誓誓 913.47 ka54 32

時期不明。

印記「魚沼郡／大坂屋／水口村」（円形黒印）。

33 尼陀那集 大本二冊 写本 智含探髄^一慧 913.47 ka54 33-1～33-2

時期不明。

34 勸化本朝新因縁集 大本五卷三冊 刊年不明 蓮盛 913.47 ka54 34-1～34-2

大妻女子大学所蔵 勸化本・仏書関係和本書目稿（一）

序「拱陽 釈 曇慧書」。

裏見返しに「皇都書林／寺町通五條上^ル町 藤井文政堂 山城屋佐兵衛」とある。

刊年不明の後印本。宝暦四年（大坂 浅野弥兵衛版）が初版。

35 勸信黄葉譚 大本三卷合一冊 宝暦七年刊 慈弁 913.47 ka54 35

尾題「法華勸信黄葉譚」。

序「宝暦乙初冬十月 僧鶴慈弁」。

刊記「宝暦七^丁 ^丑孟春／書林／西堀川松原上^ル町 八尾清兵衛／二条通車屋町角 村上勘兵衛」。

※24・36『勸信黄葉譚』は後印本。

36 勸信黄葉譚 大本三卷三冊 明治以降 慈弁 913.47 ka54 36

見返し「僧鶴慈弁／勸信黄葉譚 全三冊／（略）村上勘兵衛」。尾題「法華勸信黄葉譚」。

序「宝暦乙初冬十月 僧鶴慈弁」。

裏見返しに「日蓮宗御経書籍製本発売所／御用書林／京都市（住所略）平楽寺 村上勘兵衛」とある。

明治以降後印本。

※35『勸信黄葉譚』は宝暦七年初版。該本は、初版の刊記「宝暦七^丁 ^丑孟春／書林／西堀川松原上^ル町 八尾清兵衛／二条通車屋町角 村上勘兵衛」を残し、裏見返しに、新たに書肆名を補う。

37 真宗勸化河清譚 大本五卷五冊 宝暦十一年刊 白嶺筆記 郭天校考 913.47 ka54 37-1～37-5

外題「真宗報恩／勸化河清譚」。序題・跋題「河清譚」。

序「宝曆十庚辰臘月 南越安証教寺 廓天 謹誌」。

跋「宝曆九己卯七月 越州 釈 靈淵 跋」。

刊記「宝曆十一年辛巳孟春吉辰／醒并通五条下_ル二丁目 丁子屋庄兵衛／堀川通高辻上_ル町 河南四郎右衛門」。
「勸化河清譚後編嗣出」の広告あり。

38 説戒

大本二卷二冊 宝曆十年か 面山瑞方述 慧恩等編 913.47 ka54 38-1～38-2

序題「新鑄説戒」。内題「若州永福和尚説戒」。

序「宝曆十年二月五日 北海若老頑方面山 書」。

最終丁末尾に「宝曆九年仲冬初五日／発願寿梓流通」とある。

39 賢問子行状記

大本五卷五冊 宝曆十三年刊 春澄 913.47 ka54 39-1～39-5

序「宝曆_{壬午} 中夏上澣 沙門 春澄」。

刊記「宝曆十三_{癸未} 中夏下旬／書林／浪華 柏原屋佐兵衛／皇都 著屋儀兵衛」。

※51『賢問子行状記』は後印本。

40 即席法談

大本二卷二冊 安永九年刊 栗津義圭 913.47 ka54 40-1～40-2

目録題・内題・尾題「浄土和讃四十八首／即席法談。見返し「即席談／平安書坊／菊秀軒／空華堂／梓行」。

刊記「安永九年_{庚子} 孟春／大坂高麗橋壹丁目 藤屋弥兵衛／同「大坂」心齋橋筋唐物町 北田清左右衛門／京寺町通松

原下_ル町 菊屋喜兵衛／同「京」東六條下珠数屋町 丁子屋九郎右衛門」。

卷末に「菊屋喜兵衛」蔵版目録（二丁）を付す。

- 41 一枚起請説數 大本三卷三冊 安永五年刊 栗津義圭 913.47 ka54 41.1～41.3

序題・目録題「説數」。

序「安永丙申春 越後僧明書於湖東兜率山四十九院」。

刊記「安永五年_{丙申}孟春吉日／寺町通五條上_ル町 田中庄兵衛／寺町通松原下_ル町 菊屋喜兵衛／珠数屋町東洞院西へ入町 池田屋七兵衛」。

印記「西教寺／常什法宝」（長方朱印）。

- 42 百座因縁 大本三卷三冊 天明三年刊 嚴淨僧英 913.47 ka54 42.1～42.3

外題「法譚／百座因縁」。

序「紫豊 僧雲州 識」。

裏見返しに「天明三年癸卯仲夏／皇都書肆／寺町通松原下_ル町 菊屋喜兵衛／醒井通五条上_ル町 伊予屋佐右衛門／西六条花屋町油小路東_エ入町 永田調兵衛」とある。

「法譚百座因縁 後編三冊 近刻」他八作を広告。

- 43 三文一録 大本三卷二冊（上卷欠） 刊年不明 菅原智洞 913.47 ka54 43.1～43.2

外題「隨機説法／三文一録八十余座」。

裏見返しに「皇都書林／京御幸町御池下_ル町 菱屋孫兵衛板」とある。
裏見返しに九作を広告。

44 信州荳山常照院西光寺縁起 大本二冊 写本 913.47 ka54 44-1～44-2

外題「荳菴發心伝」（書外題（墨筆））。
末尾に「維時于慶応四年辰十月写之 本心寺内 宣誓 誌之」（墨筆）とある。

45 唱導知津 大本五卷四冊（卷一欠） 宝暦十年刊 観道 913.47 ka54 45-1～45-4

外題「悔化陳耕／勸化唱導知津」。
刊記「宝暦十庚辰年三月／京都書林／堀川通仏光寺下_ル町 河南四郎兵衛／東六條珠数屋町 丁子屋正介／寺町通五條上_ル町 天王寺屋市郎兵衛／四條通麴屋町西_江入町 山田三郎兵衛／間之町押小路下_ル町 林権兵衛」。
卷末に「山田三郎兵衛」蔵版目録（一丁）を付す。

46 願心正義編 大本卷冊 宝暦五年刊 913.47 ka54 46-1～46-5

外題「勸化／願王正義編」。
序「宝暦乙亥初秋八日書」。
裏見返しに「宝暦五年七月／浪華書林／心齋橋北詰 泉屋卯兵衛」とある。
印記「松前／笠島／泉沢」（円形黒印）。
※18『願王正義編』の後印本。

47 説法百華園 大本五卷五冊 宝暦二年刊 菅原智洞 913.47 ka54 47-1～47-5

序「寛延辛未春三月／菅原山僧智洞如達」。

跋「寛延辛未臘月院野海南勝道以寧題」。

刊記「宝暦二年壬申正月日／江戸通本町三丁目 西村源六／京堀川通松原上町 八尾清兵衛／大坂心齋橋筋順慶町 洪川与市」（裏見返し）。

※1『説法百華園』と同版。

48 勸化一声電 大本三卷三冊 宝暦十年刊 竜正 913.47 ka54 48-1～48-3

序「宝暦^{己卯}晚秋望日書」。

刊記「宝暦^{庚辰}年六月吉日／書林／京寺町通松原下^ル町 藤屋忠兵衛」。

49 説法花紅園 大本五卷合二冊 宝暦十年刊 鵠笑 913.47 ka54 49-1～49-2

序「宝暦^{庚辰}第十^{庚辰}夏五月日 江湖沙門 南溟」。

刊記「宝暦^{庚辰}十年八月吉日／皇都／寺町通五條橋詰町 書林 藤屋武兵衛 寿梓」。

印記「三河国賀茂群／栃立村坂松山／高福寺経蔵印」（方形黒印）。

裏見返しに「藤屋武兵衛蔵版目録」を付す。

50 西院河原口号伝 大本五卷五冊 宝暦十一年刊 章瑞 913.47 ka54 50-1～50-5

外題「勸化／西院河原口号伝」。

序「宝曆八戊寅年仲夏下旬」。「宝曆七^丁_丑天季冬下旬 野釈章瑞 謹誌」。

刊記「宝曆十一歳^辛_巳正月吉旦／皇都書林／御幸町御池下^ル町 菱屋孫兵衛 板」。

刊記左側に『極楽道中独り案内』他四作を広告。卷末に「菱屋孫兵衛藏版目録」(四丁)を付す。

51 賢問子行状記 大本五卷五冊 寛政五年刊 春澄 913.47 ka54 51-1～51-5

序「宝曆^壬_午中夏上澣 沙門 春澄」。

裏見返しに「寛政五^癸_丑歳九月／書林／澤田吉左衛門／著屋儀兵衛」。

『勸化一声電』他五作を広告。

※39『賢問子行状記』の後印本。宝曆十三年の刊記を削除し、裏見返しに新たに書肆を補う。